

特許紹介

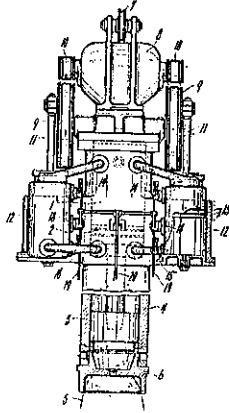
第24巻第6號 昭和12年6月

抗打空氣鏈

(特許第122563號 特許權者(發明者) 矢部 肇)

此の發明は、打鏈杆(3)を連結した打鏈ピストン(2)を打鏈氣筒(1)内に密嵌し、其の氣筒上に電動機(3)を設け、電動機の軸の両端により打鏈氣筒の上端部兩側に軸架した偏心輪(9)(9)を夫々回転させ、其の回転によつて打鏈氣筒の兩側に夫々其の上下兩端を弁(14)(15)を介して相連絡せしめて設けた2個の壓縮氣筒(12)(12)内に於て壓縮ピストン(13)(13)を往復動させ、之に依つて前記の打鏈ピストンを往復動させ打鏈杆(3)に依り杭帽(6)を打鏈するのである。本杭打鏈にあつては、杭帽に加へられる打鏈力は2個の壓縮氣筒内で壓縮せられた壓縮空氣力を以て往復動する打鏈杆の打鏈力に、本鏈全体の重量を加へたものに相當する故強力であり且つ兩側に壓縮氣筒を設けた爲平衡を保つて杭帽の偏打を防ぐことができる(図-1)。

図-1.

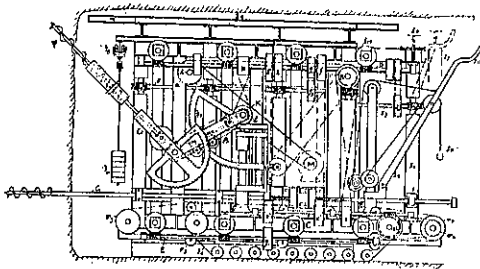


隧道構築装置

(特許第124112號 特許權者(發明者) 山本榮男)

此の發明は、車体を進退せしめる運行装置、車体を錠鎖する錠鎖装置、隧道を掘鑿する掘鑿装置、掘鑿土塊を排出する排土装置、掘鑿後の隧道壁を1時支塞する移動支塞装置、起重機兼永久支塞材(覆工用ブロック)を取付ける永久支塞材取付装置、此等各装置に傳導操縦す

図-2.



る傳導装置及各装置の支配を1箇所集中して其の運転を統制する中央運転装置を組合せて1團とした隧道構築装置である(図-2)。

コンクリート管製造装置

(特許第124207號 特許權者(發明者) 原田禮夫)

此のコンクリート管製造装置は、單に遠心力を利用するばかりでなく、一定のコンクリート噴出力を以てコンクリートを外筒全長に均等に放射附著せしめ得るやう考案したものであつて、回転する軸杆(5)に左右螺絲を重ね切り其の螺絲に啮合する又爪(6)を回動自在に緩植した往復動子(7)にコンクリート噴出嘴(11)を連結し(図-3)、之を高速度で回転する外筒(2)(図-4)内に進退せしめるのである。斯くすれば單に輸送管を外筒中心に固定し、輸送管の側壁數箇所からコンクリートを噴出せしむる場合の缺點(管の先端程噴出圧力低下し従てコンクリート管の先端程粗質)を除去することができる。

図-3.

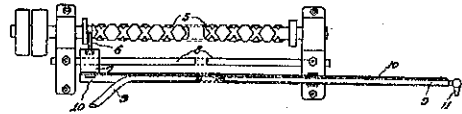
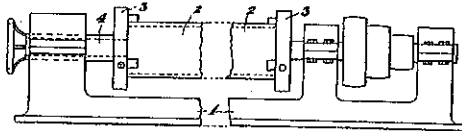


図-4.



鉄道踏切自動遮断機

(特許第124228號 特許權者(發明者) 柴田徳市)

此の發明は、暴風中と雖も左右兩扉の閉塞を均等にし支塞なからしむる爲に考案した電氣的の鉄道踏切遮断機である。

製管装置

(特許第124273號 特許權者(發明者) 中内 實)

此の製管装置は他作業との連絡を円滑にし、且芯の交換を交易迅速ならしむる爲考案したものである。

(附)登録實用新案

コンクリート継パイル

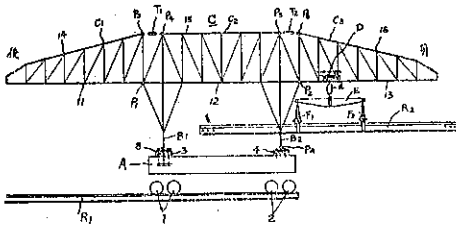
(第248026號 實用新案權者 公告昭.12年 第15427號 大同コンクリート工業株式會社)

長尺軌條及橋桁の敷設車

(第 250270 號 公告昭. 12 年 第 18470 號)
(實用新案准許 鉄道大臣 考案者 安原政市)

此の敷設車は従來の敷設車では長尺軌條を敷設する
には場所に依り使用上非常に勞力を要し時に危険な場

図-5.



合も豫想せられる缺點があるのに鑑み考案せられたも
ので、敷設せらるべき軌條 (R₂) を搬出するトロリー (D)
の走行路を 3 部分 (C₁)(C₂)(C₃) に分割し、之の勾配を
各單獨にも又全体的にも調節し得るやうにターンバック
ル (T₁)(T₂) 及ピン (P₁)(P₂) 或は柱 (B₁) の上下移動装
置を設けるのである (図-5)。

基礎工事用圧氣作業筐

(第 250805 號 公告昭. 12 年 第 18500 號)
(實用新案准許 大森組 考案者 久野三男)

(編輯部)